

## 感染症に関する研究報告の名称一覧

番号	研究報告の題目	感染症の種類		発生源	発生国	概要	出典文献等	備考
		器官別大分類	基本語					
1	「牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議」の結果について	感染症および寄生虫症	牛海綿状脳症*	ウシ	日本	茨城県のスクリーニング検査陽性の牛（月齢23ヶ月）がウエスタンプロット法、病理組織学的検査及び免疫組織化学的検査の結果を精査したところ、非定型なBSEと判断された。	厚生労働省ホームページ (2003/10/06)	
	BSE - Italy: atypical, suspected	感染症および寄生虫症	牛海綿状脳症*	ウシ	イタリア 日本	イタリアにおけるBSE：ドイツで最近開催されたプリオン病についての国際会議でイタリアの研究者が、2002年にイタリアでBSEと確認されたウシ2頭が、日本の茨城県のウシで最近発見された8例目のBSE症例の異常プリオンと構造が類似した異常プリオンであることを公表（2003年10月12日付け）。イタリアで感染が発見された2頭のウシは、各々11才と12才で、イタリアの研究者によれば、プリオンの構造及びウシの脳の中での異常プリオンの位置が、既に知られているBSEの典型例と明らかに異なるとのこと。	ProMed 20031012.2576	
	Bovine Spongiform Encephalopathy in Italy: Atypical case	感染症および寄生虫症	牛海綿状脳症*	ウシ	イタリア	イタリアで不定型BSEのウシ2頭が2003年10月16日に報告された。1頭は11歳で、もう1頭は15歳。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは、通常のBSEのケースで認められるパターンとは異なっていた。脳内におけるPrP <sup>Sc</sup> 蓄積の分布の相違も認められた。	OIE Disease Information 17 October 2003 Vol.16-No.42	
2	USDA MAKES PRELIMINARY DIAGNOSIS OF BSE	感染症および寄生虫症	牛海綿状脳症*	ウシ	アメリカ	米国農務省（USDA）長官は、アイオワにあるUSDAの国立獣疫サービス検査所から、ワシントン州の1頭のホルスタイン牛がBSE検査の結果、おそらく陽性であるとの連絡を2003年12月23日に受けたことを公表した。検体は12月9日に採取され、WHOとOIE（国際獣疫事務局）によってBSE検出の“ゴールドスタンダード”と認められている免疫組織化学を含む2つの検査法を用いて2回試験が行われた。この牛の検体は、検査結果を確認するため、英国ウェイブリッジにある中央獣疫検査所に軍用機で送られた。この牛の飼育場は隔離された。この牛はと殺後、肉を処分するためワシントン州のミッドウェイミートに送られた。USDAの食物安全査察サービスは、この牛由来製品の最終的な処分先を特定するため、急ぎ作業を行っている。おそらく陽性であろうとの検査結果を得る一方、我々は本日BSEレスポンスプランを始動した。我々は、既に実施された検査に対する自信及び食物供給と国民の健康を守るために、英国での最終確認を待たずに、この検査結果を公表した。	USDA/ News Release/ No. 0432.03	

番号	研究報告の題目	感染症の種類		発生源	発生国	概要	出典文献等	備考
		器官別大分類	基本語					
3	Note for Guidance on minimising the risk of transmitting animal spongiform encephalopathy agents via human and veterinary medicinal products (EMEA/410/01 Rev. 2 - October 2003) adopted by the Committee for Proprietary Medicinal Products (CPMP) and by the Committee for Veterinary Medicinal products (CVMP).	感染症および寄生虫症	伝達性海綿状脳症*	-	イギリス	CPMP及びCVMPによる、ヒト用医薬品及び動物用医薬品を介するTSEリスクを最小限にするためのNote for guidance (EMEA/410/01 REV.2 2003年10月)の改訂に関する情報である。 今回の改訂は、特に薬事規制への適合性を調べるプロセスにリスク評価を導入すること、種々の用語と分類をより明確化させること、ヒト及び動物用医薬品の承認に影響を及ぼす科学的知識の進展、EUの法律及び規則を考慮に入れることを目的として行われた。本ガイダンスの施行日は2004年7月1日である。	EU/Official Journal C24, 28 /01/2004 P.0006-0019	提出日：2004年3月4日 識別番号：E-03000021
66 4	Identification of a second bovine amyloidotic spongiform encephalopathy: Molecular similarities with sporadic Creutzfeldt-Jakob disease	感染症および寄生虫症	牛海綿状脳症*	ウシ	イタリア	イタリアで孤発性CJD (sCJD) と分子的相同性を有する新しい型のBSEが2頭発見：TSE、即ちプリオン病は、哺乳動物の神経退化性疾患であり、翻訳後変換 (posttranslational conversion) 及び宿主にコード化された細胞を有するプリオン蛋白 (PrP <sup>C</sup> ) のプロテアーゼ抵抗性アイソフォーム (PrP <sup>Sc</sup> ) が沈着することに特徴がある。人及び動物のTSE病原体は異なる表現型で存在し、これは生化学的にプロテアーゼ抵抗性PrP <sup>Sc</sup> フラグメントの大きさやグリコシル化の程度を基にして分化している。疫学的、分子学的及び感染学的研究によって、BSEの原因である病原体の単一株が人に感染し、vCJDを引き起こしていることが強く示唆されている。牛と人の間のいわゆる「種の壁」を越え、異なる哺乳動物の種に順応するというBSEの前例のない生物学的性質は、人の健康に対し極めて大きい懸念を呼び起こした。1つ以上の株が牛のTSEに関係しているか否か、BSEの病原体が自然感染の後に表現型を変えるか否かについては、現時点では不明である。ここにおいて我々は、2番目の牛のTSEの例を報告する。この疾患は、病理学的に典型的なBSE症例では見られないPrP免疫反応陽性アミロイドプラークが存在すること、脳のPrP <sup>Sc</sup> 蓄積の局所分布やトポロジーによって特徴づけられる。加えてウエスタンブロット分析で、低分子のグリコフォームが優位なBSE-PrP <sup>Sc</sup> よりも低分子のプロテアーゼ抵抗性のフラグメントを有するPrP <sup>Sc</sup> であることが示された。驚くことに、このかつて報告されたことのない牛のPrP <sup>Sc</sup> の分子的特徴は、sCJDのサブタイプそのものに見られるものと類似していたことである。	PNAS, 101(9), 3065-3070, 2004	

感染症に関する研究報告の名称一覧

番号	研究報告の題目	感染症の種類		発生源	発生源国	概要	出典文献等	備考
		器官別 大分類	基本語					
1	Possible case of transfusion-associated variant CJD	感染症および寄生虫症	クロイツフェルト・ヤコブ病	人血液 (原材料)	英国	英国における世界で初めての輸血による新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病感染の可能性例報告。	CDR Weekly Volume13 Number51(2003 年 12 月 18 日発行)	
2	Tissue distribution of bovine spongiform encephalopathy agent in primates after intravenous or oral infection	感染症および寄生虫症	クロイツフェルト・ヤコブ病	人血液 (原材料)	英国 (公表国)	カニクイザルを用いた研究によって、静脈内経路から BSE 病原体が霊長類に高率に伝播する可能性を示すデータが得られたことにより、リスク期間に輸血した等の医療履歴のある vCJD 患者では、輸血による感染であることを疑うべきであると結論づけている。	Lancet 2004;363:422-28	
3	Possible transmission of variant Creutzfeldt-Jakob disease by blood transfusion	感染症および寄生虫症	クロイツフェルト・ヤコブ病	人血液 (原材料)	英国	英国において、後に vCJD を発症したドナーからの輸血を受けた後に vCJD を発症し、死亡した症例が確認された。本症例は世界で初めての輸血による新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病感染の可能性を示すものであり、また vCJD の潜伏期間中であってもドナー血液には感染性が現れていることを示すもので、今後もこれらに関する疫学的調査システムの重要性を強調した研究報告。(番号 1 と同一の情報)	Lancet 2004;363:417-21	

## 感染症発生症例一覧

	番号	感染症の種類		発現国	性別	年齢	発現時期	転帰	出典	区分	備考
		器官別大分類	基本語								
第2回	1	臨床検査	抗HBcIgG抗体陽性	イギリス	女	48歳	2003年4月28日	不明	症例報告	外国製品	2003年10月23日 D03-54 (D03-34の 差し替え報告)
第1回	1	臨床検査	抗HBcIgG抗体陽性	イギリス	女	48歳	2003年4月28日	不明	症例報告	外国製品	2003年8月12日 D03-34
第1回	2	感染症および寄生虫症	サイトメガロウイルス感染	ドイツ	男	1か月	2003年6月28日	不明	症例報告	外国製品	2003年9月5日 D03-39